

補助金評価シート(平成22年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1] 白色のセルのみ入力してください。 (コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)			担当課		担当係名			所属長(課長等)名			担当者係長名				
96003	水洗便所等改造融資あっせん利子補給補助金			建設水道課		下水道係			漆戸 芳樹			桑原 高広				
				一次評価年月日		平成	23	年	6	月	10	日	連絡先[内線]		2171	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)		会計区分		事業コード		事業名(歳出予算見積書)									
			<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別	5700		公共下水道総務事務							
			<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別										
	第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ		章		(コード選択)		3章		夢のある地域形成							
			節		(コード選択)		節		町の基盤を整備する							
			項[基本施策]		(コード選択)		314		下水道の普及							
			主な取り組み		(コード選択)				#N/A							
			関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱		<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画		<input type="checkbox"/>	主要業務報告		<input type="checkbox"/>	その他	
	補助金の期間		<input type="checkbox"/>	単年度		<input type="checkbox"/>	継続 (開始)		3	年度 ~ (終了予定)		<input type="checkbox"/>	年度			
	補助金の性質		<input type="checkbox"/>	事業費補助		<input type="checkbox"/>	団体運営費補助		<input type="checkbox"/>	大会運営費補助		<input type="checkbox"/>	利子補給		<input type="checkbox"/>	その他()
補助金の交付基準		<input type="checkbox"/>	法令		<input type="checkbox"/>	条例規則		<input type="checkbox"/>	要綱 等		<input type="checkbox"/>	契約書 (規則等の名称:)				
補助金の算定方式		<input type="checkbox"/>	予算補助		<input type="checkbox"/>	決算補助		<input type="checkbox"/>	定率補助		<input type="checkbox"/>	定額補助				
補助金の財源内訳		<input type="checkbox"/>	町単独補助		<input type="checkbox"/>	国・県補助あり		(町 / 10)		(県 / 10)		(国 / 10)				

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(～に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。							
<input type="checkbox"/>	一部事務組合等	<input type="checkbox"/>	公益法人	<input type="checkbox"/>	企業や団体	<input type="checkbox"/>	個人
(交付団体名 : 汲み取り便所を水洗便所に改造し、または汚水の排水設備を設置して公共下水道に接続しようとする人。)							
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。							
公共下水道に接続して水洗化の促進を図り、快適な生活を送れるようにする。							
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。							
1	取扱金融機関の協力を得て、資金のあっせん(80万円以内)を行う。						
2	取扱金融機関による資金貸付けに対して、貸付金利子相当額の利子補給(60万円以内)を行う。						

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分		単位	実績値		計画値		最終目標年度	
			21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度 (見込み)
①	指標名	水洗化率	%	89.9	90.1	90.9	0.99	90.10
	説明	接続済人口／処理区域内人口×100	目標値設定の根拠	過去の実績から推計				
②	指標名					#DIV/0!		0
	説明		目標値設定の根拠					

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度									
事業費(円)		190,308			730,587			531,071			1,538,466									
補助率(町負担分)		3%			3%			3%			3%									
町交付額(円)		6,185			23,744			14,871			50,000									
財源内訳	国庫支出金																			
	県支出金																			
	地方債																			
	その他	184,123			706,843			516,200			1,488,466									
	一般財源	6,185			23,744			14,871			50,000									
(千円)										平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度見込み							
%										176	175	174	168							
%										99.8	99.2	96.8	96.8							
		課長		課長補佐		係長		一般職員		延べ人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費					
		H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	176	175	174	168
		臨時職員		人數及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 (人件費計算式)シート			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	[理由]	
	社会情勢上必要か	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	[理由]	水洗化の促進のためには、希望者が少なくても実施したい。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	[理由]	希望者のみへの補助
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	[理由]	水洗化率の向上により、下水道使用料増が見込み、豊かな自然を保つ。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	[理由]	水洗化率
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	[理由]	水洗化率の向上
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	[理由]	希望者のみへの補助
その他	これまでに見直し実績はあるか	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	[理由]	利子補給限度額30万円以内を60万円以内に変更
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか			

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性（上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。）□を一つチェックしてください。

ア. 現状のまま継続する

イ. 見直しのうえで継続する

ウ. 終期設定

エ. 廃止

オ. 休止

（今後の展開方針）（イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください）

a 増額する

b 減額する

c その他（隔年対応等）

（ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください）

時期（年度）

事業の方向性の具体化

（誰が、何を、いつまでに、どうするか（5W1H）等の改革改善案を記入します。）	23年度予算見積書への反映	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
近年融資あっせん希望者は減少しているが、水洗化の促進のためには有効な事業である。引き続き未接続世帯への訪問時にこの制度の説明を行い、有効利用を訴えていく。	〔反映内容〕		

(7) 所属長 所見（事務事業の総合評価及び今後の方向性について）

（評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。）	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
水洗化促進に必要な事業であるので、未水洗化世帯への水洗化促進のPRを行う際に、融資あっせん制度もPRする。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

（今後の方向性 □を一つチェックしてください。）

ア. 現状維持

イ. 見直しのうえで継続する

ウ. 終期設定

エ. 廃止

オ. 休止



上記 a ~ c を選択